

夢、私たちに。 わたしのひとこと



今、私の考えること

通 松澤 善信

ここ数年の景気の低迷、白馬村内でのスキー客の減少等、私たちの生活を脅かすことばかりです。私はサラリーマンですから、日々の浮き沈みを直接感じる事はあまりありませんが、時々「ああ、白馬は昔と変わったんだなあ」と感じる事は多々あります。元来、白馬村はスキー産業と農業の二本柱で発展してきた地域です。今、両方の産業が破綻の危機に直面しています。私が考えるこの危機の打破とは、それぞれ専門性を持つ事だと思います。両分野ともに高い知識と技術を駆使すれば、自ずと結果はついてくると信じています。

私は農業に関係する仕事をしておりますが、専門知識と技術をさらにみがきをかけ、自分自身の為、白馬の発展の為、少しでも貢献できればと思っております。



ふるさと白馬

白馬町 太田 治生

昭和56年に白馬にもどってきて、もう26年になる。白馬山麓の四季は積雪のない地域と比べることができないくらい素晴らしい。日々の生活を長い間積み重ねると、少しずつではあるが四季の変化を楽しむことが面白くなっている。特に春の彼岸ごろから始まる雪解けは、待ち焦がれた黒い土との秋以来の出会いで、その土の面積が日ごとに広がっていくのが、気持ちを広くするようでなかなか良い。四月になると、あらかたの雪は消えてクロッカスや水仙が花芽を膨らませ、土が温まる日当たりのよい所では福寿草が花をつける。黄色いマンサクが花をつけ、梅と桃と桜が一遍に咲き、五月に入ると山桜の花は山の嶺に向かって咲き上る。白馬山麓からの眺望と他に類のない四季の移ろいを見せるこの狭い場所を、価値ある大切なものとして思えるのはやはり我が故郷だからでしょう。



健康を考えるようになって

堀之内 平林 圓

年をとるにつれ、健康を考えるようになりました。ボケたくないと思うのが一番なのですが、運動もして元気でいたいと思います。そう思ってもなかなかできないのが現実です。ちょうど、信州婦人大学講座で「健康と運動」のテーマで松本大学の根本先生のお話を聞きました。松本市では高齢者の医療費を少なくしようといろいろ試したとの事です。「インターバル速歩」が効果的との事です。大股で速足でお腹に力を入れて遠くを見て歩く、疲れたら普通に歩く、これを繰り返して20分位歩くといいそうです。他に、スネやももの筋肉をつける運動、お腹がへこむよという運動を教えてくださいました。毎日とはいきませんが、教えていただいた運動をすると意外と体が気持ちいいと感じるから不思議です。歩く時も大股速足を心がけています。もしかしたら、ポッコリお腹もへこむかも？ 期待して。

編集後記

桜の開花がきかれる季節となり、白馬では五月の連休頃となりそうで、今から花の咲くのが楽しみです。私も春の緑の頃が大好きですが、今冬のシーズンの終わりでもあり、結果が心配なところでもあります。ごみ処理場問題で議会でもその話題でもちきりであり、ごみの持ち込みをしている私としては、大変心配な事でもあり、近くに決まってほしいのが本音です。環境課が新設されました。ごみの分別・生ごみの堆肥化・ごみ処理場の有効利用で、議論はこれからもつきないと思えます。 太谷 正治記

議会報調査編集 特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 西澤 功 |
| 委員長 | 柏原 孝至 |
| 副委員長 | 渡辺 俊夫 |
| 委員 | 池田 和良 |
| | 小林 英雄 |
| | 太谷 正治 |
| | 宮尾 幸典 |
| | 高橋 賢一 |

白馬議会だより 第84号
平成20年5月7日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈱北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosai.vill.nakubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.nakubanagano.jp